

平成24年度 決算の概要

平成24年度国東市の決算概要をお知らせします。

一般会計の歳入決算額は199億4,639万4千円で、前年度と比較して15億8,868万1千円、7.7%の減となっています。

一方、歳出決算額は188億874万3千円で、前年度と比較して14億8,758万2千円、7.3%の減となっています。

このように歳入・歳出決算規模が縮小した主な原因は、借金の繰上償還の大幅な減額(前年度と比較して約6億円の減)などによるものです。

一方、これまでの積極的な歳入一般財源の確保と歳出一般財源の削減により、市の貯金である基金残高は、一般会計では年度末で約102億円となり、前年度と比べて約11億円の増となりましたが、全会計では年度末で約120億円となり、前年度と比べて約3億円の減となりました。これは前年度、市民病院の建替工事を行いました。このため、前年度末に一時的に大量の現金を貯めていたため、病院事業会計を除く残りの会計の基金残高は、約12億円の増となっています。

また、市の借金である市債残高は、一般会計では年度末で約222億円となり、前年度と比べて約14億円の減、全会計では年度末で約352億円となり、前年度と比べて約14億円の減となりました。

今後も健全な財政運営を保っていくためにも、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

国東市の基金残高・借入金残高の状況

(単位：千円)

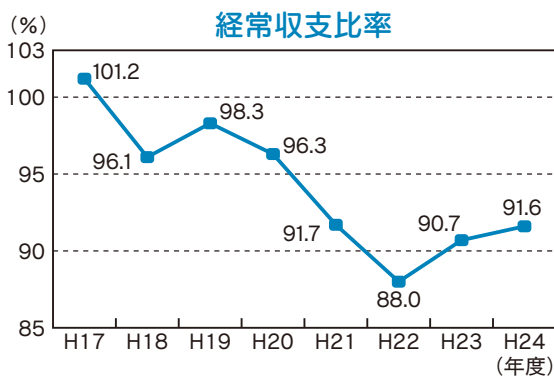
(単位：千円)

基金残高の状況(貯金の状況)		
区分	平成23年度末	平成24年度末
一般会計 (住民1人当たり)	9,120,856 (287)	10,242,930 (327)
全会計 (住民1人当たり)	12,359,455 (389)	12,009,482 (383)

借入金残高の状況(借金の状況)		
区分	平成23年度末	平成24年度末
一般会計 (住民1人当たり)	23,540,832 (742)	22,166,961 (707)
全会計 (住民1人当たり)	36,578,187 (1,152)	35,187,307 (1,122)

※定額運用基金(国保高額療養費付基金等)は除いている
 ※工業用水及び市民病院特別会計は現金・預金・有価証券の合算額を基金とみなし計算している

財政構造の弾力性



※経常収支比率とは、地方自治体の財政の弾力性を示す指標で、低ければ低いほど財政運営に余裕があり、政策的に使えるお金が多くあることを示します。

計算式の分子となる歳出経常一般財源は約1.4億円の減(△1.1%)となりましたが、分母となる歳入経常一般財源は約2.7億円の減(△2.0%)と大幅に減少したため、経常収支比率は対前年度比で0.9ポイント悪化し、91.6%となりました。

これは、歳入経常一般財源のうちその9割を占める地方税及び普通交付税が、前者は約1.1億円減少(△3.7%)したこと、後者は約0.5億円減少(△0.6%)したことなどの影響が大きかったものです。

なお、歳出経常一般財源の減少要因のうち、最も影響が大きかったものは、人件費(経常)及び公債費(経常)で、前者は約1.2億円(△3.0%)の減、後者は約0.9億円(△3.0%)の減となっています。